資料1

議題１　会計年度任用職員の任用に関する運用・基準等について（春日井市提出）

市名	回答			
	（１）任用に関する選考の方法について	（２）公募によらない従前勤務実績に基づく能力実証による再度任用について		
		①回数制限の有無と回数について		回数制限ありの場合
		回数制限の有無	回数	②任用開始時期が重なる会計年度任用職員がいるときにおける対応方法（予定を含む）について
名古屋市	募集を希望する課での選考を原則としている。ただし、簡易な事務的業務に従事する職や、複数の職場にまたがる職等については、各局区室人事担当課が一括して募集を行っている。 選考は、筆記試験・面接試験の両方実施（必要に応じて実地試験等を加えることも可）を原則としているが、簡易な事務的業務に従事する職については、面接試験のみで可としている。	有	4回まで	現段階で特段の対応予定は無し。
豊橋市	主に①人事課による競争試験と、②各部署における競争試験もしくは選考、の二つの方法をとっている。 ①は年１回、公募による競争試験を実施、②は部署により実施時期・方法等は異なる。	有	４回まで	制度導入以前から臨時職員として勤務している場合にはその任用期間も加味したうえで、公募によらない再度任用の上限回数を超えた職員を競争試験の対象としているため、毎年一定数の職員は公募によらない再度任用の対象となる。
岡崎市	事務補助員（特定の職場を除く。）：人事課において登録者を募集し登録する。各部署からの配置要望に基づき、候補者を推薦し、各課で面接し、作文の内容等も踏まえ選考している。 事務補助員以外（特定の職場の事務補助員を含む。）：各課において募集し、面接等によって選考している。	無		
一宮市	公募による応募者から面接等で選考しています	無		
瀬戸市	「瀬戸市会計年度任用職員登録申込書」による書類選考及び面接により、 会計年度任用職員登録者台帳への登録について選考し、本市の人員体制や本人の希望等を考慮し、台帳登録者の中から任用しています。	無		
半田市	【新規の場合】職員２名以上による面接（１回） 【再度の任用の場合】所属長による人事評価	無		
春日井市	人事課において登録簿を整備し、常時登録者を募集。各部署からの配置要望を踏まえ、登録簿から候補者を推薦し、各部署による面接により選考している。	有	２回	会計年度任用職員の一斉の交代を避けるため、制度導入以前から臨時職員として勤務している場合にはその任用期間も加味したうえで、長期任用者から公募選考の対象とすることを検討している。
豊川市	人事課において登録台帳（履歴書）を整備し、登録者を常時募集。募集内容はホームページや広報で広く周知している。各部署で任用の必要性が生じた際に、登録台帳から候補者を選び出し、各部署による書類選考もしくは面接により選考している。	無		
津島市	公募によらない選考の場合は、人事考課の結果を基に更新の可否を決定する。 新規採用の際は、津島市会計年度任用職員採用希望登録簿に登録している者若しくはハローワークへ募集し応募があった者に面接を行い、採用可否を決定する。	無		
碧南市	職員採用計画と、当人の意向調査票及び勤務成績票、又は採用面談試験結果により任用を決定	有	4回	現段階では、特段の対応予定はありません。
刈谷市	人事課において登録簿を整備し、常時登録者を募集。登録簿から各部署が候補者を決定し、面接により選考している。もしくは、ハローワークや市民だより等に求人情報を掲載し、公募により選考している。	無		

議題１　会計年度任用職員の任用に関する運用・基準等について（春日井市提出）

市名	回答			
	（１）任用に関する選考の方法について	（２）公募によらない従前勤務実績に基づく能力実証による再度任用について		
		①回数制限の有無と回数について		回数制限ありの場合
		回数制限の有無	回数	②任用開始時期が重なる会計年度任用職員がいるときにおける対応方法（予定を含む）について
豊　田　市	人事課において事前登録。登録簿から候補者を推薦して、各部署による面接により選考。	無		
安　城　市	人事課において登録簿を整備し、常時登録者を募集しているが、人事課からの推薦等はせず、各課で選考をしている。	無		
西　尾　市	競争試験または選考（書類、面接、実技等）で行っている。また、選考についての詳細な規定は無いが、採点基準表を作成する等の方法で公平な選考を行っている。	有	4	回数制限である４回を超えた会計年度任用職員については公募選考の対象者として対応をする予定
蒲　郡　市	人事課において、会計年度任用職員（（時給）＝（簡易事務、短時間勤務））希望者の登録簿を整備し、常時登録者を募集（登録の期限は５年間）している。人員を必要とする各部署が、人事課の登録簿から候補者を選出のうえ、面接等により選考している。	無		
犬　山　市	総務課において登録簿を整備。各部署からの配置要望を踏まえ、登録簿から候補者を推薦し、各部署による面接により選考している。	有	5回	会計年度任用職員の一斉の交代を避けるため、制度導入以前から臨時、パート職員として勤務している場合にはその任用期間も加味したうえで、長期任用者から公募選考の対象とする。
常　滑　市	担当課において面接等を実施し、選考している。	無		
江　南　市	本市では、公募による募集と登録制を併用しています。公募による募集を原則とし、欠員や緊急の場合は登録者の中から選考、面接試験を実施します。	無		
小　牧　市	一般事務補助員の公募は欠員・新規分のみとしており、その他は人事評価と所属長面談の結果をもって客観的な能力実証を行い再度の任用としています。	無		
稲　沢　市	人事課において登録名簿を整備し、随時、申込書の受付・登録を行っている。各所属の募集要件を踏まえ、登録名簿から候補者を推薦し、所属における申込書による書類選考及び面接を実施したうえで、採用者を決定している。	有	２回まで	前年度末において行う勤務実績の評価と再度の任用についての意思確認を踏まえ、希望者は選考の対象とする予定。なお、その際に、名簿登録者の中に当該再度の任用を行う職等についての希望者があれば併せて選考の対象とする予定。
新　城　市	各部署で募集要項を作成し、ホームページへの掲載や窓口で配布し募集する。合わせて、ハローワークにも募集を登録し、応募者の中から面接により選考することを基本といしている。急を要する募集の場合は、秘書人事課の登録簿を各部署が閲覧し、候補者との面談により選考をしている。	無		
東　海　市	要領において、任用に関する規定を定めており、採用に当たっては、原則、広報誌、ホームページ等への掲載の方法により広く募集を行うなど適切な募集を行うものとしている。その後、任用を希望する者から任用申込書を提出させ、面接、当該申込書による書類選考等により客観的な能力の実証を行った上で選考するものとしている。	無		
大　府　市	原則公募による。	有	4回	年度単位の任用が基本であるため、４月１日から任用が多い。また、制度開始年度から４回目の更新の次の４月には、多くの部署で公募による選定を行う必要がある見込みである。
知　多　市	面接	無		

議題１　会計年度任用職員の任用に関する運用・基準等について（春日井市提出）

市名	回答			
	（１）任用に関する選考の方法について	（２）公募によらない従前勤務実績に基づく能力実証による再度任用について		
		①回数制限の有無と回数について		回数制限ありの場合
		回数制限の有無	回数	②任用開始時期が重なる会計年度任用職員がいるときにおける対応方法（予定を含む）について
知　立　市	①総務課において登録簿を整備し常時登録者を募集。各部署より登録簿から候補者を選定し、面接により選考している。 ②専門知識が必要な職種など登録簿により選考が難しい場合は各部署より広報誌やホームページを通じて募集及び選考している	有	4	総務課にて年度末をもって任用が終了する会計年度任用職員の有無を各部署へ照会し、回答のあった該当者に対し登録簿への登録用紙を配布。 提出のあった登録用紙を登録簿へ搭載し各部署が公募選考を行いやすいように対応している。
尾張旭市	登録希望者は人事課へ登録申込書を提出し、任用を希望する部署は登録申込書から選考対象者を選び、当該部署にて面接等により選考する。 なお、保育園業務は保育課が登録申込書を保管している。	有	２回	回数制限に達した職については公募を行う予定だが、登録制のため各部署で対象者が重複する可能性があるなど、実施による課題もあることから、今後検討していく予定。
高　浜　市	人事担当と調整のうえ、各部署において候補者の募集・面談等を行い選考しています。	有	4	現状、明確な基準等は定めておらず、一斉に公募選考の対象とすることが想定されます。
岩　倉　市	書類審査、面接、人事評価結果等により選考している。	無		
豊　明　市	本市においても、会計年度任用職員については、春日井市と同様に常時登録の受付をしており、必要に応じて各所属が登録のある者の中から面接により選考している。	有	2	人事担当としては、ホームページ上に常時登録の案内を掲載しているため、それを公募としてとらえているが、来年度の募集に向けた事務が開始する前に再度、公募による選考が原則である旨を全庁的に周知し、各所属において現在任用している者のほかに登録簿の中の者を加えて選考する事務を行ってもらうことになると考えている。任用時期が重なる職員は多いと考えるが、特にそれに特化した対応は現在考えていない状況。
日　進　市	人事課において登録簿を整備し、常時登録者を募集。各部署が登録者の中から面接により選考している。	有	２回まで	各担当課で調整をしていることはあると思われる。
田　原　市	原則として能力実証による再度任用は行わず、会計年度ごとに公募の上、面接等の選考を行っている。			
愛　西　市	毎年度公募による選考を実施している。	無		
清　須　市	人事秘書課で公募して、各部署で書類選考及び面接を行っている。	無		
北名古屋市	各部署が公募し、面接により選考している。事務能力の把握が必要な職種については、人事秘書課職員が事務適性検査を併せて実施する。	無		
弥　富　市	人事秘書課において登録名簿を整備し、常時登録者を募集しています。各部署がその登録簿から候補者を選定し、面接等により選考しています。 【参考】現在の登録名簿有効期間を、令和５年３月31日までとして運用しています。	無		
みよし市	人事課において登録簿を整備し、常時登録者を募集。各部署からの配置要望を踏まえ、登録簿から候補者を推薦し、各部署による面接により選考している。	有	連続２回までとする（要綱に規定）。	従来通り公募選考する予定
あ　ま　市	各課において公募や選考の手続（人事担当部長へ合議）を行うこととしております。	有	２回まで	特段の措置は講じておりません。

議題１　会計年度任用職員の任用に関する運用・基準等について（春日井市提出）

市名	回答			
	（１）任用に関する選考の方法について	（２）公募によらない従前勤務実績に基づく能力実証による再度任用について		
		①回数制限の有無と回数について		回数制限ありの場合
		回数制限の有無	回数	②任用開始時期が重なる会計年度任用職員がいるときにおける対応方法（予定を含む）について
長 久 手 市	各部署において、募集、選考を実施している。選考方法も各部署に委ねているが、面接によるものが多いと考える。	有	職務の性質等から公募により難い職を除き、公募による任用を初年度として、翌々年度の任用（任用しようとする前年度に任用がない場合を除く。）までとする。	任用期間に関わらず、公募選考を実施する。